

資料 1

中部様式1

平成30年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

尾鷲市地域公共交通活性化協議会

平成20年5月28日設置

ファイダー系統 平成29年5月31日 確保維持計画策定

■ 地域の特性と背景

○本市は、地域の約92%が山林で、沿岸部には変化に富んだリアス式海岸が形成されるなど、豊かな自然環境に恵まれている一方、市街地周辺部には10ヶ所の集落が点在し、それぞれの地域において過疎高齢化が進行していることから、これらの各地域の公共交通をいかにして結ぶかが重要な課題となっている。

■ 地域公共交通網形成計画の目標及び期間

○目標 「人口減少時代にも持続可能な公共交通を確保し、定住促進・地域の活性化を目指す」

○期間 平成29年度～平成33年度

■ 公共交通の将来像

○基本方針

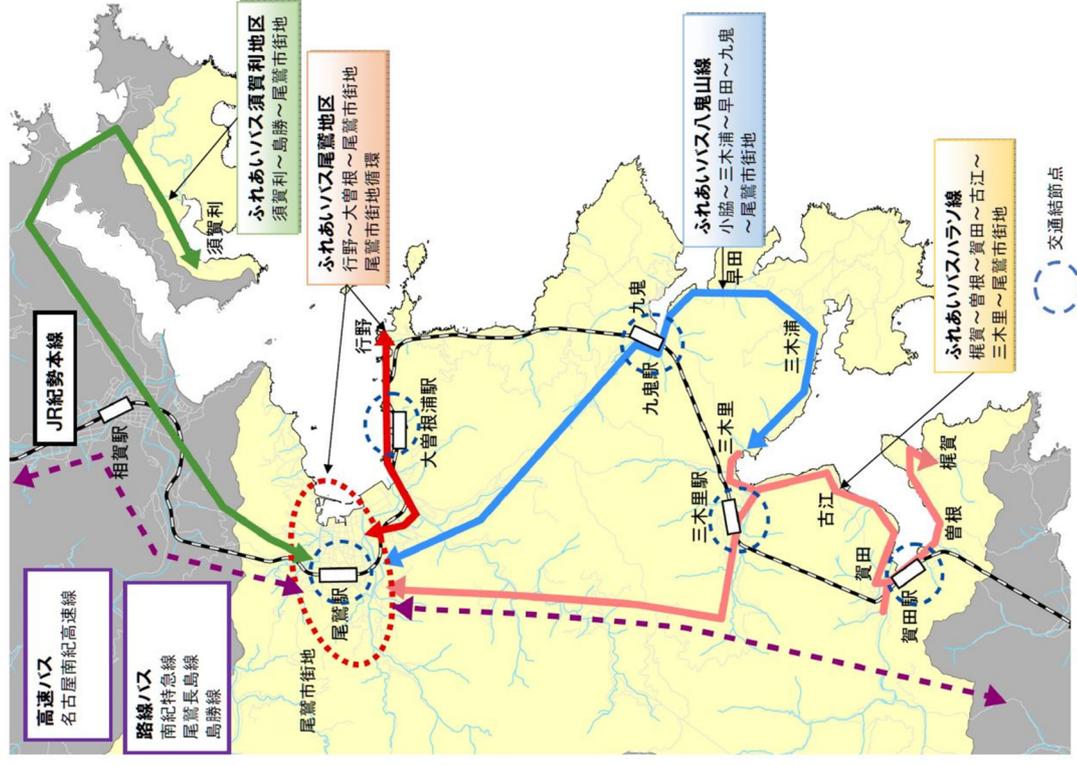
①地域ごとの特性に応じた公共交通網の形成とサービスの確保

②まちづくりと連携した総合的な地域公共交通の確保

○公共交通網見直しの方向性

・地域住民懇談会等での意見を踏まえ、現行ネットワークを基本に、ルート、ダイヤを見直す。

・集落支援員の活用など、地域主体の取り組みなどとの連携を図る。



■ 目標を達成するために行う事業・実施主体

【補助対象事業】

- ・ 地域公共交通確保維持改善事業
 - 尾鷲長島線・島勝線・南紀特急松阪線（地域間幹線）の運行【三重交通】
 - ふれあいバス（ライダー）の運行【平成18年より継続、尾鷲市】
 - ・ その他補助事業 なし

【非補助事業】

- ふれあいバスのルート・ダイヤの一部変更（平成30年4月1日実施）【尾鷲市】
- 毎年、バス車内、停留所において利用者アンケートを実施【尾鷲市】
- ふれあいバス須賀利地区と三重交通島勝線との乗継割引（600円に平準化）【尾鷲市】
- 地元スーパーとの協賛事業（2,000円以上の買い物で200円のふれあいバス割引券を配布）【事業者】
- JR紀勢本線の利用促進【南紀・東紀州交通対策委員会】
- 尾鷲駅前広場口タリーの車動線整備【平成29年度、尾鷲市、交通事業者】
- 免許返納によるふれあいバス運賃半額制度の実施【平成30年度、尾鷲市、交通事業者、警察】

尾鷲駅前広場ロータリーの

車動線整備 平成30年2月16日～

交通の結節点であるJR紀勢線尾鷲駅前広場を整備し、ふれあいバス入鬼山線、八ラン線及び尾鷲地区をJR尾鷲駅へ接続した。このことにより、更に広範囲への移動が可能となり、交通便利性の向上を図った。

変わります！ バス停「尾鷲駅」ふれあいバス

2月16日(金)からバス停「尾鷲駅」の場所が変わります。

新しいバス停

現在のバス停

交番

JR尾鷲駅舎

お問い合わせ

市長公室

☎0597

23-8134

ふれあいバス免許返納割引制度の実施

平成30年4月1日～

運転免許証の自主返納を促進することにより、公共交通の利用促進を図るとともに、社会問題化している高齢者の自動車事故の軽減が図れることに寄与したと考えられる。

ふれあいバス 運転免許証自主返納割引制度

4月1日～ が始まりです

対象 運転経歴証明書所持者(年齢制限無し)

割引額 普通運賃の半額

利用方法 運賃支払い時に運転経歴証明書を提示することで、運賃が半額割引となります。

その他 本人及び同伴者1名に適用
障がい者割引や定期券等、他の割引との併用不可

お問い合わせ 市長公室 ☎ 0597 23-8134

■生活交通確保維持改善計画に掲げられた目標値についての評価

○バス利用者に対する満足度調査（過去増加率を元に設定）

	目標値	実績値	達成状況	考察及び今後の方針
八鬼山線	0.77	0.02	未達成	平成29年10月1日のダイヤ改正から間もない時期での調査であったため、新ダイヤに生活リズムが馴染んでいなかったものと考えられる。今後モアント調査を継続し、動向を注視する。
ハラソ線	0.91	0.28	未達成	平成29年10月1日のダイヤ改正から間もない時期での調査であったため、新ダイヤに生活リズムが馴染んでいなかったものと考えられる。今後モアント調査を継続し、動向を注視する。
尾鷲地区	0.91	0.57	未達成	平成29年10月1日のダイヤ改正から間もない時期での調査であったため、新ダイヤに生活リズムが馴染んでいなかったものと考えられる。今後モアント調査を継続し、動向を注視する。
須賀利地区	0.86	1.86	達成	朝の1便について路線の延長を行った結果、満足度が上昇。目標値を上回っており、継続して満足度の維持を図っていく。
満足+2、概ね満足+1、普通0、やや不満-1、不満-2 の平均値				

○地区センター管内から尾鷲高校への通学確保（平成30年4月に聞き取り調査を実施）

	目標値	実績値	達成状況	考察及び今後の方針
割合	50%	47%	未達成	17人中8人がバスを利用して通学しているため、引き続き通学手段の確保を行っていくとともに、利用者の増加につなげていく。

※上記評価について、12月25日の尾鷲市地域公共交通活性化協議会にて協議した。

- ①目標の達成状況に関する課題
 - 目標（評価指標及び基準）の妥当性に関する課題
 - 事業実施のあり方に関する課題
 - 事業実施効果を高める施策に関する課題
- ②公共交通ネットワークに関する課題
 - 地域ごとの住民要望への対応
 - 八鬼山線：ふれあいバスのダイヤ調整、尾鷲駅接続
 - ハランソ線：賀田中奥、名柄地区への延伸
ふれあいバスのダイヤ調整、尾鷲駅接続
 - 尾鷲地区：交通不便地域への対応
 - 須賀利地区：尾鷲直通便、島勝での待機時間延長
 - JR尾鷲駅への八鬼山線、ハランソ線の乗り入れとダイヤ調整（特急連絡等）
- ③公共交通の維持に関する課題
 - 集落支援員活用の検討（九鬼地区ほかで検討中）
 - ふれあいバス須賀利地区と三重交通島勝線との調整



②については、住民等との協議を経て、平成29年10月1日のダイヤ改正にて一定の対応を行った。今後もニーズに応じたネットワークの検討を継続して実施する。

③の課題については、

- 集落支援員については、九鬼地区ほか、各地区への導入が進んでおり、移動支援の取り組みを具体的に検討している。

- 三重交通島勝線については、三重県が主催する路線検討会議に参加し、乗車人員の増加を目的とした取り組みを検討していく。

①の課題については、②、③の実現を踏まえて対応。

平成30年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（経緯）

尾鷲市地域公共交通活性化協議会

平成20年5月28日設置

リーダー系統 平成29年5月31日 確保維持計画策定

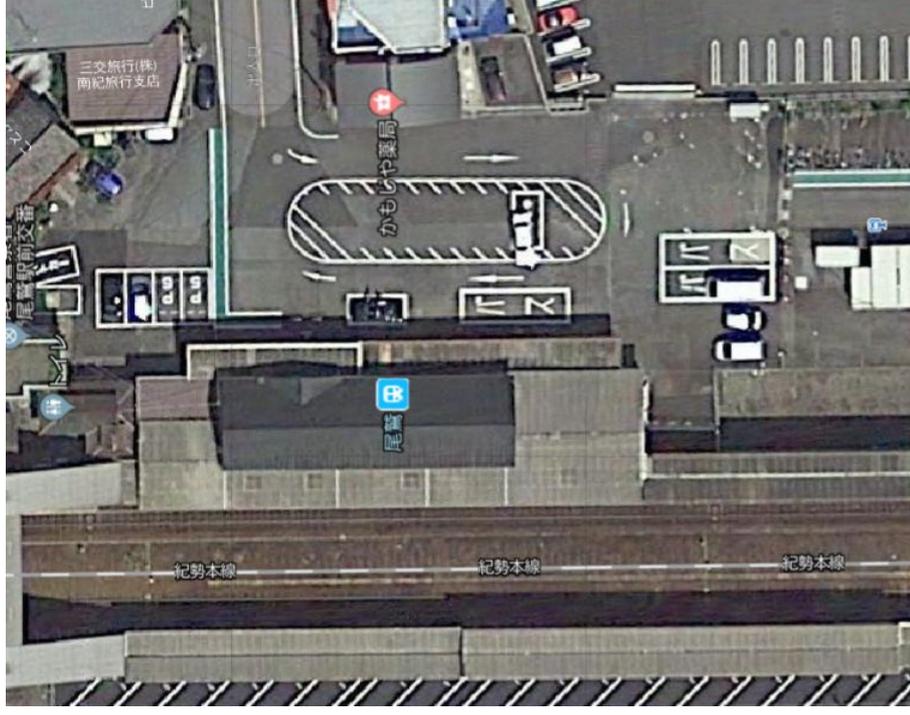
直近の第三者評価委員会 における事業評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
持続可能な公共交通ネットワーク構築のため、地域公共交通網形成計画に基づき公共交通ネットワークの再編を実施したことは評価する。		持続可能な公共交通ネットワーク構築に向け、引き続き取り組んでいく。
ネットワーク再編後の各路線ごとに利用状況の要因分析を行い、今後の改善につながる取組が実施されることを期待する。	利用者に対するアンケート調査を実施している。	より利便性の高いバス路線となるよう、改善に向け取り組んでいく。
市内を運行する地域間幹線系統の中には輸送量が低いものがあり、これに対応した取組が早急かつ効果的に実施されることを期待する。	平成27年度より、乗継運賃補助を継続実施している。	今後も実施予定。

○尾鷲駅前広場ロータリーの車動線整備 平成30年2月16日～

交通の結節点であるJR紀勢線尾鷲駅前広場を整備し、ふれあいバス八鬼山線、ハラン線及び尾鷲地区をJR尾鷲駅へ接続した。このことにより、更に広範囲への移動が可能となり、交通利便性の向上を図った。



整備前



整備後

○整備内容及び向上点



車動線、バス・タクシーの停車位置の明示による交通整理性の向上



駅舎軒下へのベンチ設置による待合利便性の向上



歩行者動線の確保による安全性の向上



駅利用者・観光者用駐車スペースの確保による利便性・集客性の向上

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成 年 月 日

協議会名: 尾鷲市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内ライダーシステム確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等 【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
三重交通	【系統名・航路名・設備名・運行(航)区間、整備内容を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討)の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載】 尾鷲市コミュニティバス八鬼山線 尾鷲駅～三木浦～三木駅前 尾鷲駅～三木浦～小脇 尾鷲駅～九鬼駅～コノワ	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのよう生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合は、理由等記載】	A・B・C 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのよう反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
三重交通	尾鷲市コミュニティバス八鬼山線 尾鷲駅～三木浦～三木駅前 尾鷲駅～三木浦～小脇 尾鷲駅～九鬼駅～コノワ	利便性の更なる向上、利用状況の要因分析のため、利用者に対するアンケート調査を継続実施した。 また、尾鷲駅前広場を整備し、JR尾鷲駅にライダー3路線を接続した。	A 運行計画日数を計画どおり運行し、事業は適切に実施された。	B アンケート調査(聞き取り調査)において、満足度調査を行い(0を基準とし最大値+2、最小値-2)、目標の0.77に対して0.02で、未達成となった。 平成29年10月1日のダイヤ改正から間もない時期での調査であったため、新ダイヤに生活リズムが馴染んでいなかったものと考えられる。今後もアンケート調査を継続し、動向を注視する。	引き続き、利用促進を図るため、聞き取り調査等を行い利用性の向上に取り組み。
三重交通	尾鷲市コミュニティバスハラノ線 尾鷲駅～三木里駅前～梶賀	利便性の更なる向上、利用状況の要因分析のため、利用者に対するアンケート調査を継続実施した。 また、尾鷲駅前広場を整備し、JR尾鷲駅にライダー3路線を接続した。	A 運行計画日数を計画どおり運行し、事業は適切に実施された。	B アンケート調査(聞き取り調査)において、満足度調査を行い(0を基準とし最大値+2、最小値-2)、目標の0.911に対して0.28で、未達成となった。 平成29年10月1日のダイヤ改正から間もない時期での調査であったため、新ダイヤに生活リズムが馴染んでいなかったものと考えられる。今後もアンケート調査を継続し、動向を注視する。	引き続き、利用促進を図るため、聞き取り調査等を行い利用性の向上に取り組み。

尾鷲市	<p>尾鷲市コミュニティバス尾鷲地区 尾鷲駅～天満堤防～紀伊松本 尾鷲駅～天満堤防・夢古道お わせ前～紀伊松本 尾鷲駅～夢古道おわせ前～紀 伊松本 尾鷲駅～光ヶ丘～尾鷲駅</p>	<p>利便性の更なる向上、利用者 況の要因分析のため、利用者 に対するアンケート調査を継続 実施した。 また、尾鷲駅前広場を整備 し、JR尾鷲駅にフェイダー3路 線を接続した。</p>	A	<p>運行計画日数を計画どお り運行し、事業は適切に実 施された。</p>	B	<p>アンケート調査(聞き取り 調査)において、満足度調 査を行い(0を基準とし最大 値+2、最小値-2)、目標の 0.911に対して0.57で、未達成 となった。 平成29年10月1日のダイ ヤ改正から間もない時期で の調査であったため、新ダ イヤに生活リズムが馴染ん でいなかったものと考えら れる。今後もアンケート調査 を継続し、動向を注視する。</p>	<p>引き続き、利用促進を図るた め、聞き取り調査等を行い利便 性の向上に取り組み。</p>
尾鷲市	<p>尾鷲市コミュニティバス須賀利 地区 旧小学校前～漁協前～島勝 旧小学校前～漁協前～尾鷲総 合病院</p>	<p>利便性の更なる向上、利用者 況の要因分析のため、利用者 に対するアンケート調査を継続 実施した。 また、地域間幹線である島勝 線の輸送量増加策の一環とし て、乗継運賃補助を継続実施 した。</p>	A	<p>運行計画日数を計画どお り運行し、事業は適切に実 施された。</p>	A	<p>アンケート調査(聞き取り 調査)において、満足度調 査を行い(0を基準とし最大 値+2、最小値-2)、目標の 0.861に対して1.86で、目標を 達成した。 朝の1便について路線の 延長を行った結果、満足度 が上昇。目標値を上回って おり、継続して満足度の維 持を図っていく。</p>	<p>引き続き、利用促進を図るた め、聞き取り調査等を行い利便 性の向上に取り組み。</p>

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成 年 月 日

協議会名：	尾鷲市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域内ライダーシステム確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>本市は、地域の約92%が山林で、沿岸部には変化に富んだりアス式海岸が形成されるなど、豊かな自然環境に恵まれている一方、市街地周辺部には10ヶ所の集落が点在し、それぞれの地域において過疎高齢化が進行していることから、これらの各地域の公共交通をいかにして結ぶかが重要な課題とされてきました。</p> <p>本市の公共交通機関は、鉄道、路線バス、タクシーがその役割を担っています。鉄道はJR紀勢本線、路線バスは「尾鷲長島線」、「島勝線」、「ふれあいバス尾鷲地区」、「ふれあいバス須賀利地区」、「ふれあいバスハラソ線」、「ふれあいバス八鬼山線」と、都市等を結ぶ長距離バスが運行されています。</p> <p>少子高齢化・過疎化等の理由により、本市の高齢化率は年々増加傾向にあり、通勤や通学で利用する人口も減少を続け、公共交通サービスを維持確保していくためにはより多くの市民が公共交通を利用する必要があります。また、まちづくりと一体となった公共交通の利用促進が求められます。</p> <p>これを実現するために、市民ニーズに応じた生活交通を確保することを目的として、持続可能な地域公共交通確保維持改善事業に取り組んでまいります。</p>